クボタ×NTTグループ　コラボレーション成果
農業・水・環境インフラ分野におけるICTイノベーション創出に向けた連携協定の締結

㈱クボタ，NTTおよびNTTコミュニケーションズ（NTT Com）は，クボタが展開する農業・水・環境インフラソリューションに，NTTの研究開発成果やNTT Comをはじめとする NTTグループ各社のICTサービスを組み合わせて，新たな価値を創出することを目的に連携協定を締結しました．

今後，クボタ，NTT，NTT Comおよびグループ各社が連携し，農業・水・環境インフラ分野での共同開発や共同実験などの活動を進めていきます．

■連携の背景・目的

クボタは，もっとも多くのお客さまから信頼されることによって，もっとも多くの社会貢献をなし得るブランドを構築すべく，「グローバル・メジャー・ブランド・クボタ」の追求を基本方針として掲げ，農機事業や水・環境事業などのグローバル展開を加速するとともに，国内ビジネスの再活性化・再構築に取り組んでいます．特に農機事業においては，ICTを活用した営農支援システム「KSAS」など，農家の皆様の抱える課題解決をめざしたソリューションの提供や技術開発力の強化に努めています．

一方，NTTは，お客さまに選ばれ続ける「バリューパートナー」として，ICTを通じたパートナーの皆様とのコラボレーションにより，Co-Innovation（共創・技術革新）の取り組みを推進しています．農業も重点分野の1つとして位置付け，NTTグループ横断プロジェクトにより

「儲かる」，そして世界に誇る日本農業をめざして

担当者紹介

長網　宏尚
株式会社クボタ　アグリソリューション推進部　KSAS業務グループ長

日本農業は，高齢化や農業従事者の減少，一方で企業参入や意欲ある担い手農家が台頭する等，転換期を迎えています．また生産現場ではコスト競争力の強化，そして美味しくより安全な農作物づくりが求められています．

こうした中，クボタでは農業機械の技術革新とICTの融合を進める等，新たな挑戦を始めています．「クボタスマートアグリシステム（KSAS）」はICT・GISを活用し，農機の稼動情報と農家の圃場・作業・収穫といったさまざまな情報を連携させ「見える化」することで農業経営の改善を支援する情報サービスです．

また，農機の大型化，そしてGPSやセンサを搭載したスマート農機による省力化や自動化等，従来にない生産性の向上をめざしています．これらを組み合わせることで，「高収量・高品質・高能率」農業を実現できるものと確信しています．

一方で，こうした商品・サービスを広く浸透させていくには，利用環境を整える必要があります．このたびのNTTグループとの連携は，クボタの商品・サービスの高度化を加速させ，さらには農村地域にも新たな活力や可能性をもたらすものと期待しています．最近の担い手農家さんは皆アグレッシブです．そんな次世代を担う生産者が，世界に誇る品質と今までにないスケールで存分に力を発揮できる，そんな魅力溢れる農業の実現に向け取り組んでいきます．

幅広い事業主体とのパートナリングを推進し，パートナーの皆様とともに高付加価値サービスの創出や新たなビジネスモデルの確立をめざしています．

さらに，NTT Comでは，グローバルシームレスサービスを中心としたソリューションによるICT環境の最適化を通じ，お客さまの経営改革（Digital Transformation）に貢献することをめざしています．具体的には，クラウド・コロケーション・ネットワーク・アプリケーション・セキュリティ・マネージドICTなどの各種サービスをグローバルレベルで最適に組み合わせたICTソリューションを展開し，お客さまのデジタル変革を支援しています．

今後は，各社が連携し，革新的な農業ソリューションのイノベーション創出による農業の競争力向上や地域の活性化に加え，水・環境インフラソリューションのさらなる高度化を通じた快適な生活環境の創造を国内外で実現することをめざしていきます．

■連携による取り組み内容

⑴　農業ソリューション分野

NTT Comのクラウド・セキュリティなどのグローバルサービスに，NTTグループ各社の無線技術・気象情報・地図情報などの最先端のICTサービス，さらにはNTTが研究開発を進めるAIによる故障検知・IoT技術などを組み合わせ，クボタが提供する農機や営農支援システムを高度化することで，農業経営の見える化や作業効率化・自動化，高品質農業の実現など，農家の皆様のイノベーションにつながる研究開発やサービス開発に取り組みます．

⑵　水・環境インフラソリューション分野

NTT Comのクラウドやセキュリティなどのグローバルサービスに，NTTグループ各社の無線技術・気象情報・音声などのメディア処理技術などの最先端のICTサービス，さらにはNTTが研究開発を進めるAI「corevo（コレボ）」による故障検知・IoT技術などを組み合わせ，クボタの水・環境インフラの遠隔監視や現地作業の効率化につながる研究開発やサービス開発に取り組みます．

◆問い合わせ先

NTT広報室
TEL　03-5205-5550
URL　http://www.ntt.co.jp/news2016/1606/160607a.html

農業×ICTで日本の農業を元気にします

担当者紹介

久住　嘉和
NTT研究企画部門　サービスプロデュース担当　担当部長

NTTグループは「2020」「地方創生」を契機とした新たな市場開拓を加速させるため，グループ横断プロジェクトによる幅広い事業主体とのパートナリングを推進しています．

農業もグループ20社以上が連携してさまざまな取り組みを行っていますが，その取り組みの歴史が浅いため，農業界のメジャープレーヤーであるクボタとの連携は事業戦略上，非常に意義のあるものでした．

今回の連携では，クボタが運用する農業支援クラウドサービス（KSAS）等の農業ソリューションや上・下水道プラント等の水・環境インフラソリューションに対して，NTTグループや研究所のIoTやAI（corevo）を組み合わせ，農作業のさらなる効率化や高品質化，プラント監視業務の省人化等の実現により，個社ではなし得なかった新たな価値創造をめざします．

特に農業分野は，就農人口の減少や高齢化，担い手不足が進むと同時に，経験と勘が重視されているため，ロボット，ICTが貢献できる領域が多いと考えています．

今回のクボタとの連携により，農業×ICTでスマート農業を実現し，若い人，これから農業を始める人が「農業はかっこいい．儲かる．俺も，私もやってみたい」と極めて単純なのですが，そんな世界を創り出すことが，農業を，地方を，日本を元気にすることにつながると考えています．今後もグループ総合力で取り組みますのでぜひご期待ください．